

ケアマネジメントに係る 諸課題に関する検討会(第4回)	構成員 提出資料
令和6年9月20日	

落久保構成員

令和6年度 広島県 介護支援専門員に関する実態調査

2024年9月15日 速報Vir.1

広島県介護支援専門員協会
会長 落久保裕之

1.調査概要

○調査目的

高齢化の進展等に伴い、今後、介護需要の増加が見込まれ、要介護高齢者の多様なニーズに対応した適切なケアマネジメントを実施していくためには、介護支援専門員が必要数確保されている必要がある。そのため、介護支援専門員の過不足状況や確保・定着を図っていく上での課題等を把握するために行う。

○調査対象

"一般社団法人広島県介護支援専門員協会の会員※対象者：1,785人"

○調査期間

令和6年8月8日～令和6年8月19日

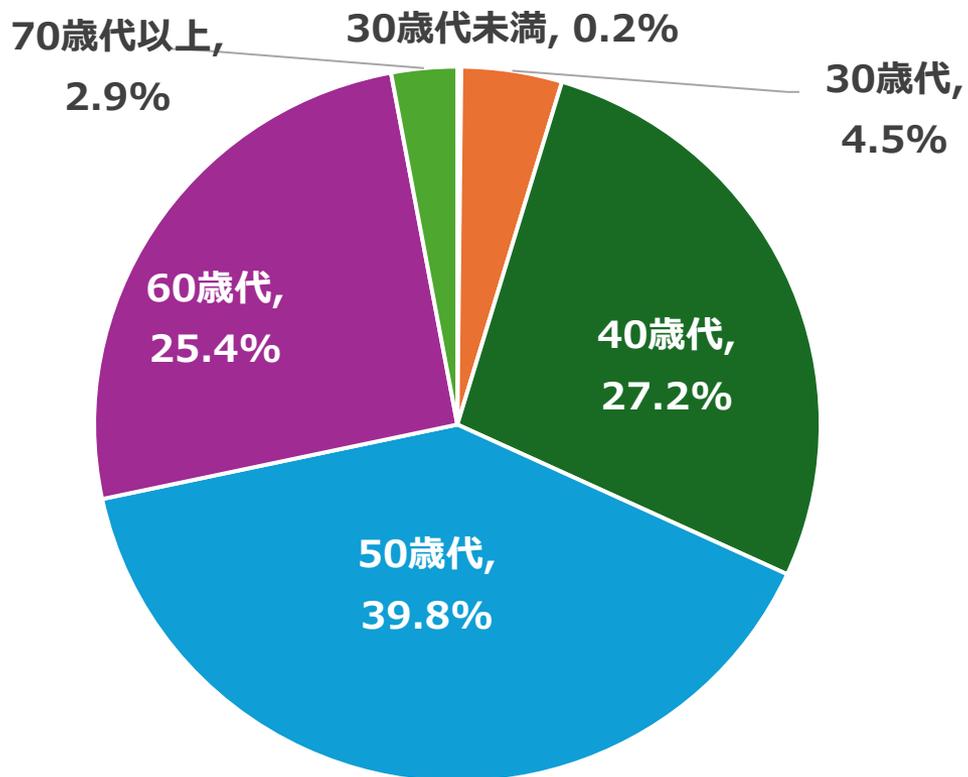
○調査方法

"googleフォーム（広島県介護支援専門員協会から会員に対し調査を依頼）"

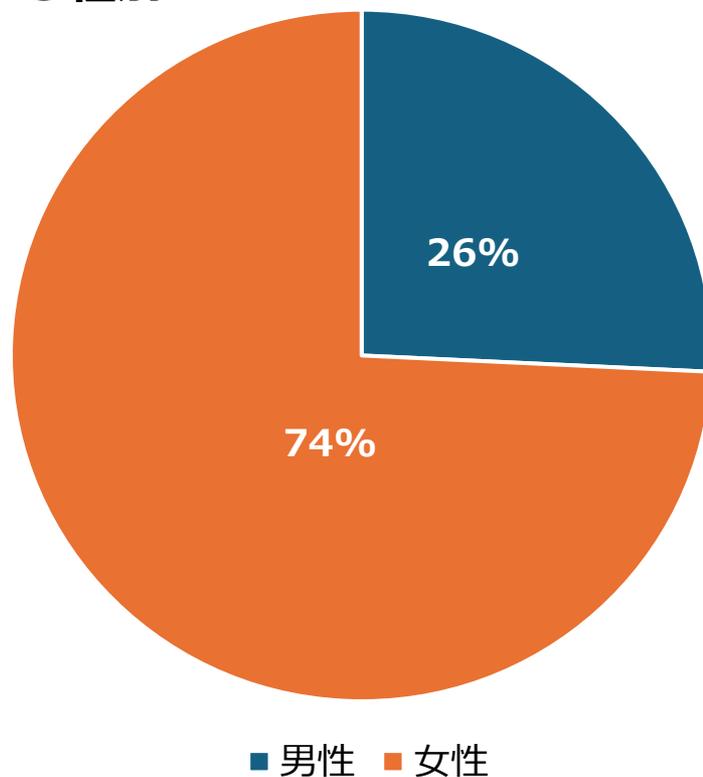
2.回収数

○回答数：1,161（回答率65%）

○年齢層



○性別

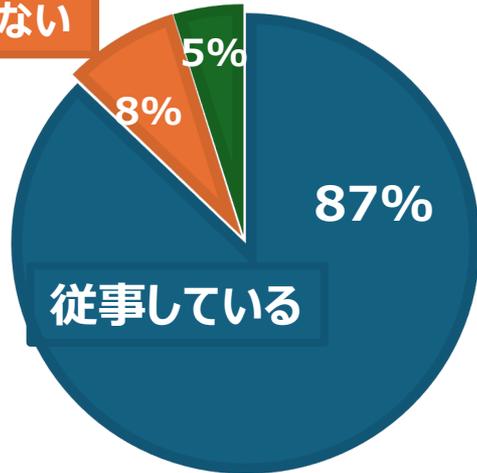


■ 男性 ■ 女性

(1) 介護支援専門員としての従事状況

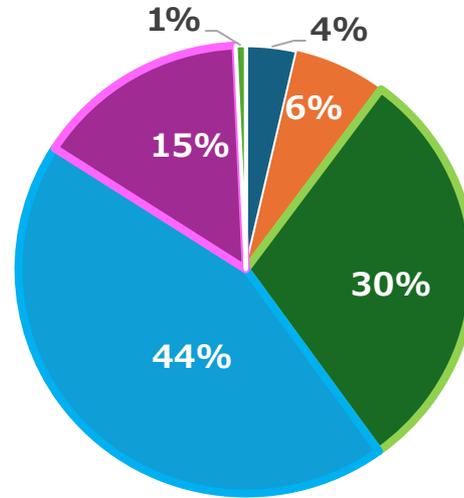
従事していたが
現在はしていない

従事していない



(7) 介護支援専門員としての従事期間

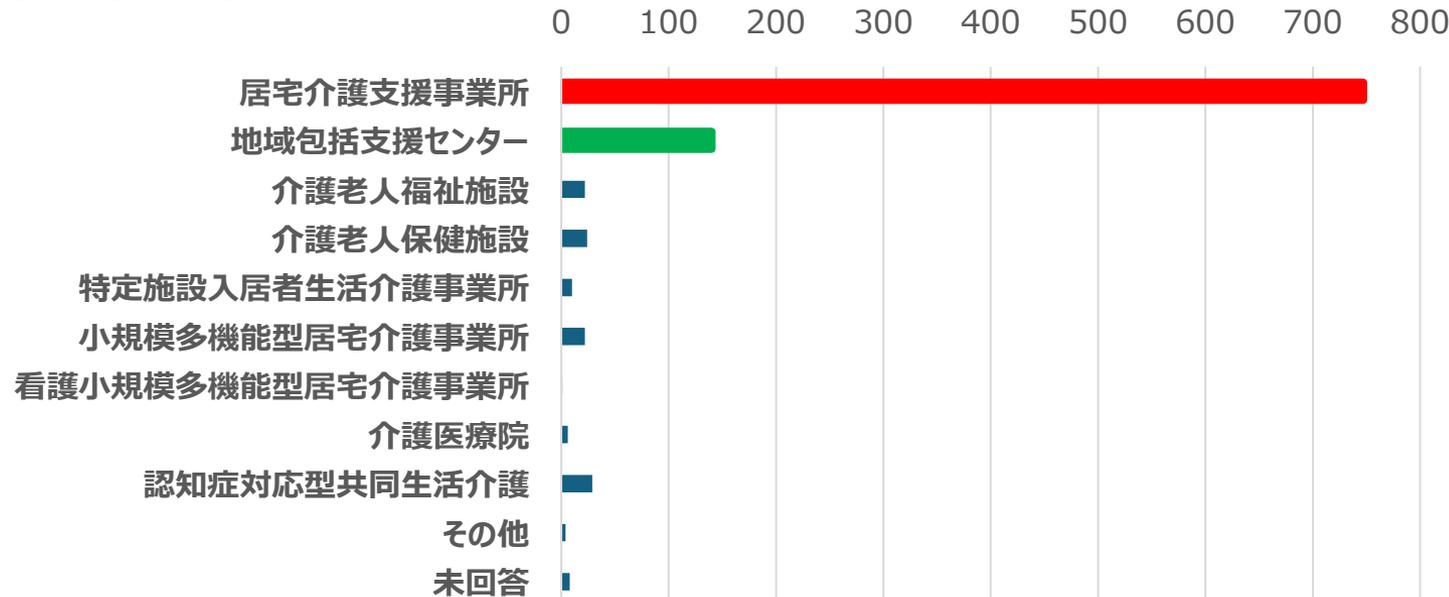
※ (1) で「従事している」「現在は十時していない」と回答した場合のみの問い



- 1年未満
- 1年以上3年未満
- 3年以上10年未満
- 10年以上20年未満
- 20年以上
- 未回答

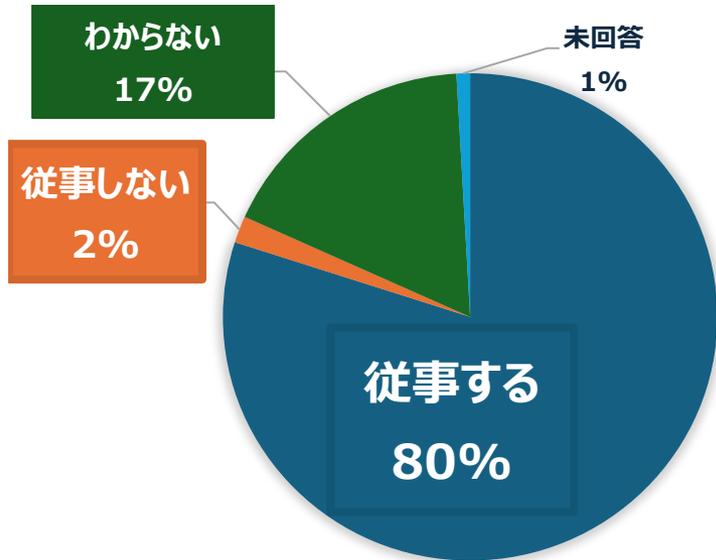
(3) 所属の事業所（施設・地域包括支援センター）のサービス種別

※ (1) で「従事している」と回答した場合のみの問い



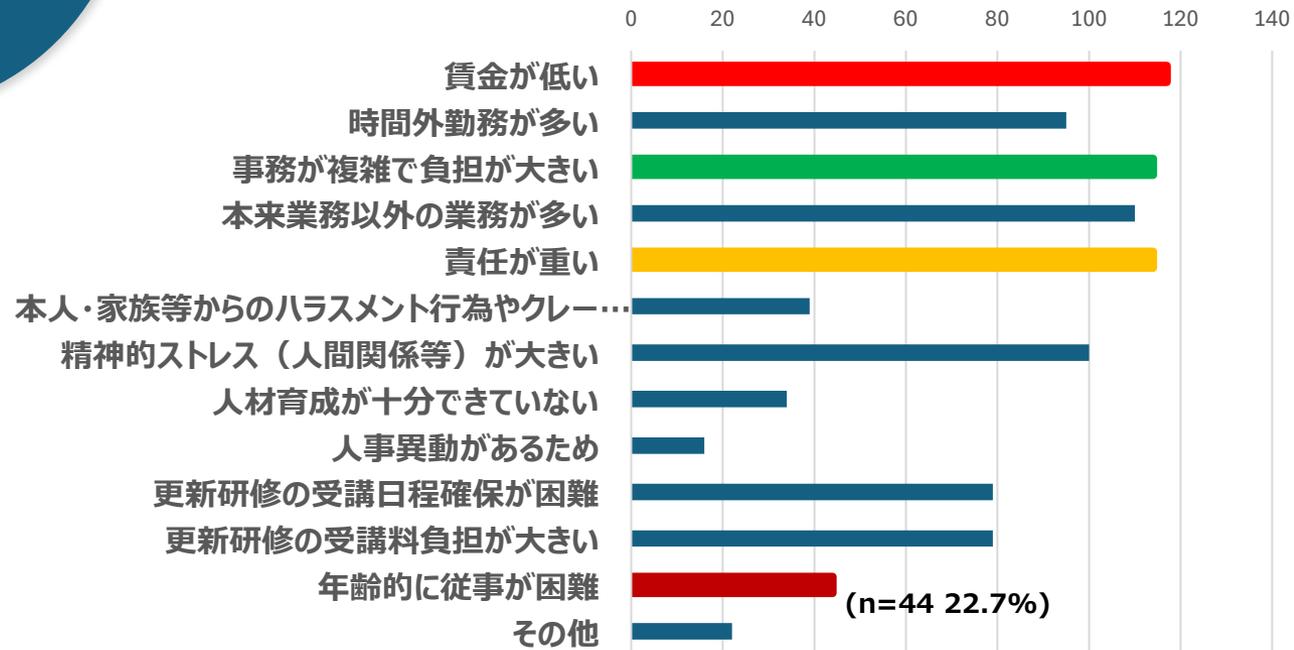
(4) 今後の介護支援専門員としての従事予定について

※(1)で「従事している」と回答した場合のみの問い (n=1,013)



(5) 「従事しない」、「わからない」と回答した理由 (複数選択可)

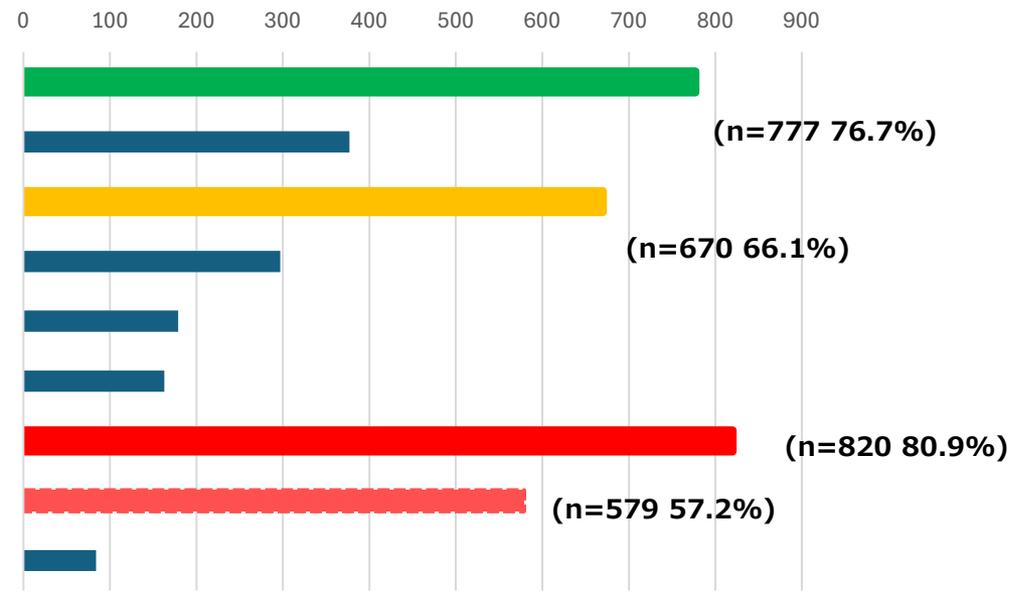
※前問で「従事しない」、「わからない」と回答した場合のみの問い(n=143)



※アンケート回答者(60歳代:295名、70歳代以上:34名)

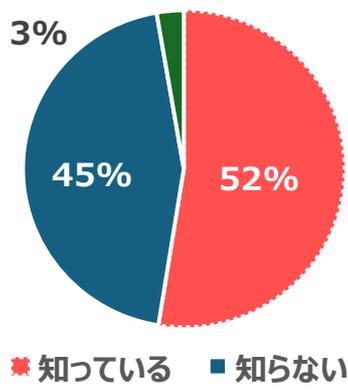
(6) 介護支援専門員として引き続き従事していく上で、行政や関係団体等へ求める支援（複数選択可）

※（1）で「従事している」と回答した場合のみの問い（n=1,013）



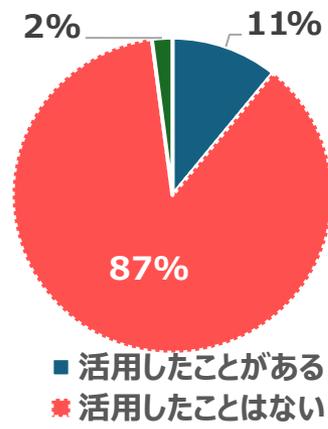
(8) 教育訓練給付制度の認知状況（複数選択可）

※（1）で「従事している」、「従事していたが現在は従事していない」と回答した場合のみの問い(n=1106)



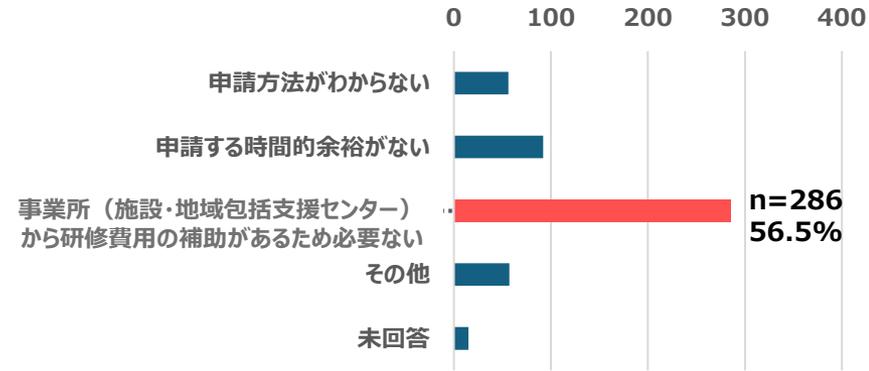
(9) 教育訓練給付制度の活用状況

※（8）で「知っている」と回答した場合のみの問い（n=506）



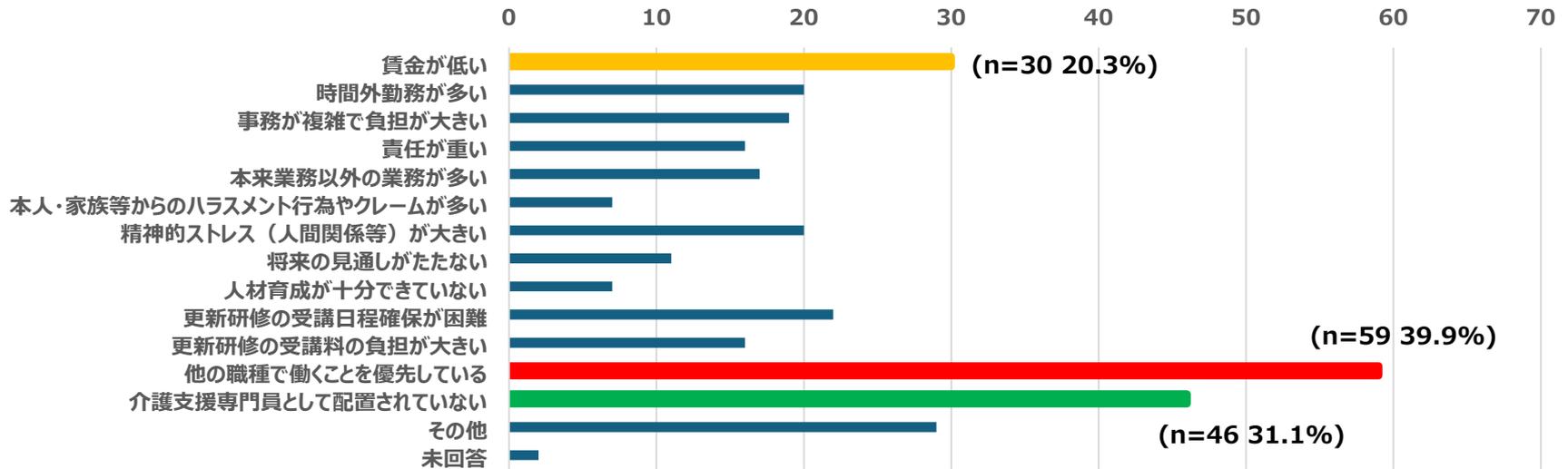
(10) 教育訓練給付制度を活用したことがない理由

※（9）で「活用したことはない」と回答された場合のみの問い(n=306)

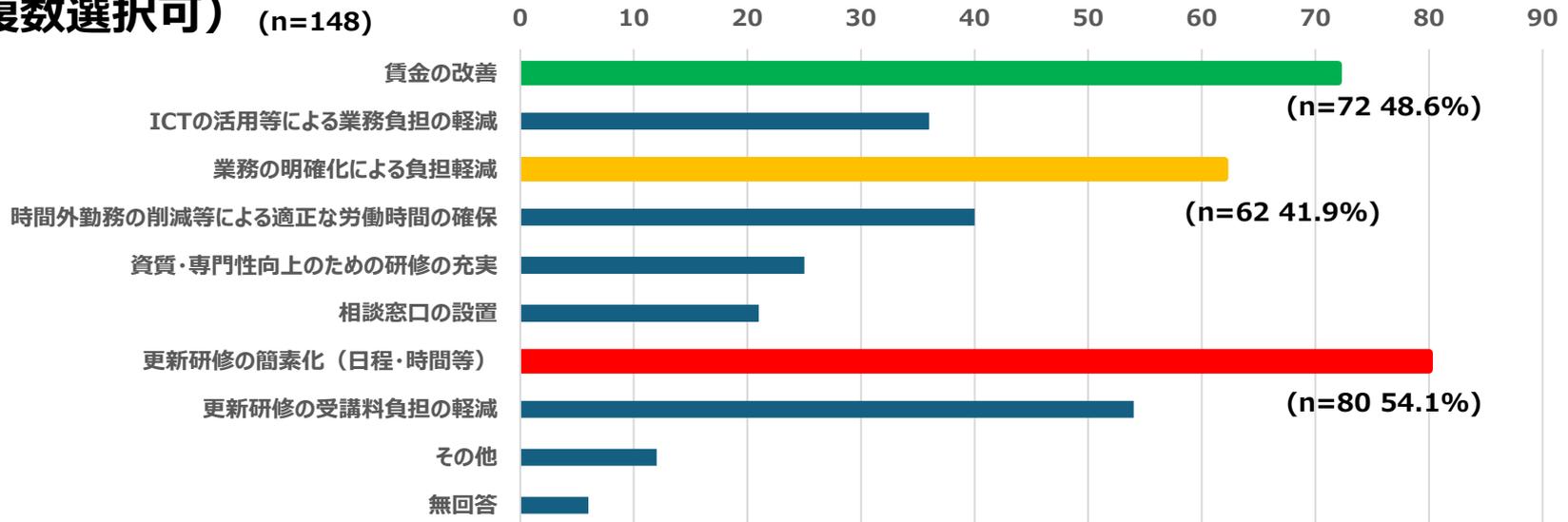


(11) 介護支援専門員として従事していない理由（複数選択可）

※（1）で「従事していたが現在は従事していない」、「従事したことがない」と回答した場合のみの問い（n=148）

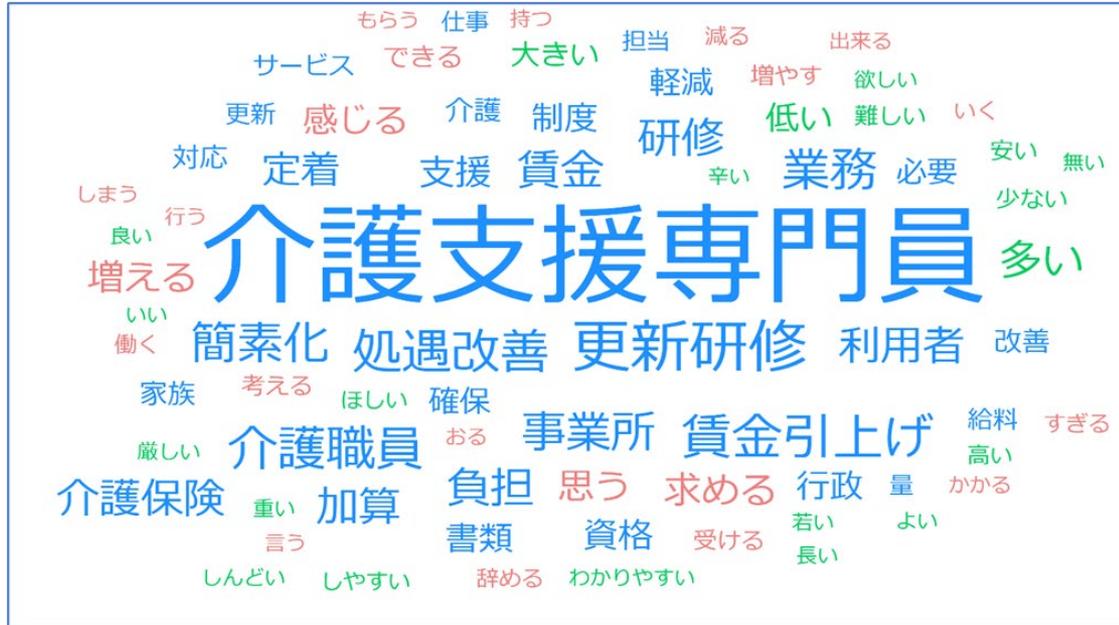


(12) 介護支援専門員として従事したいと思うための行政や関係団体等からの支援（複数選択可）（n=148）



介護支援専門員に関する実態調査（回答） 1161名うち自由記載にあった576名分のデータ1217行に分割

○AIテキストマイニングbyユーザーローカルによるワードクラウド（青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞）



○AIテキストマイニングbyユーザーローカルによる係り受け解析（上位10個を表示）

負担 - 大きい	🔍	中立	19.69	35
賃金 - 低い	🔍	中立	10.34	24
賃金 - 安い	🔍	ポジティブ	13.59	21
書類 - 多い	🔍	中立	1.16	15
研修 - 多い	🔍	中立	0.88	13
負担 - 多い	🔍	中立	0.75	12
確保 - 難しい	🔍	ネガティブ	2.69	11
業務 - 多い	🔍	中立	0.43	9
定着 - 難しい	🔍	ネガティブ	1.47	8
責任 - 重い	🔍	ネガティブ	3.73	7

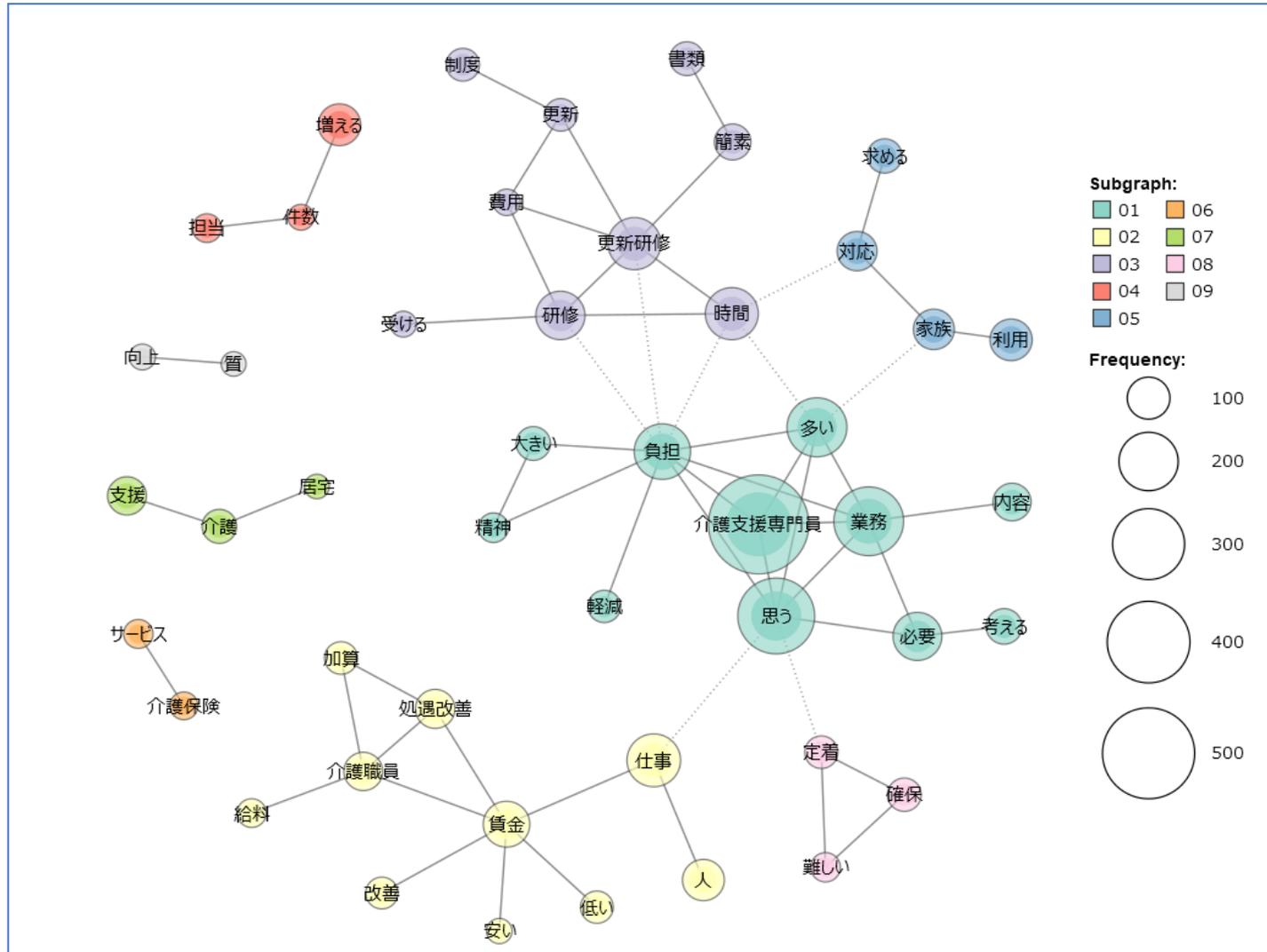
係り受け解析では、「名詞」に係る「形容詞」「動詞」「名詞」についての解析結果を表示する。

「スコア」は、出現回数やその係り受け関係が全組み合わせのうちに占める割合などを複合的に判断し、独自に算出した数値。

「スコア」が高いほど、よりその係り受け関係が重要であることを示す。

KHcorderによる共起ネットワーク

自由記載すべて 1,217行 36,357語 (うち15,935語使用)



介護支援専門員に関する実態調査（回答）1161名うち自由記載にあった576名分のデータ1217行に分割

○AIテキストマイニングbyユーザーローカルによるAI文章要約をもとに協会副会長（望月）により加筆修正

介護支援専門員に関する現状や問題点、改善策についての意見や要望をまとめ、要約を示す。

1. **業務負担と賃金の不均衡**:

介護支援専門員は、**業務量に対して賃金が見合っておらず、生活を維持するのが困難**なケースがある。特に、業務の複雑化と**書類作成の負担が大きく、精神的なストレス**を引き起こしている。本来業務である**ケアマネジメント以外の業務についての負担感**を強く感じている。

【業務負担の内容】※（）内の文章はアンケート内の実際の文章から引用

- （1）制度改正のたびに複雑化する書類作成等の負担
（**ケアプラン点検等で減算対象となるため正確に作成しなければならない等の精神的な負担感**がある）
- （2）業務内容が不明確で、**家族や利用者、行政、医療関係者等々からの様々な要望に応えることを強られる**ことの負担
（困りごとの解決を**なんでも介護支援専門員がしてくれる**と本人・家族・行政・病院等も思っているような風潮がある）
- （3）**特定事業所加算対象の24時間365日の対応**やカスタマーハラスメント等への負担
（24時間、メールや電話、仕事に終わりが無い。利用者本人や家族の考え方にも変化があり、カスタマーハラスメントも散見される。）

2. **更新研修の負担**:

「更新研修の費用と内容を簡素化してもらいたい。」

更新研修が精神的・時間的・金銭的（※特に広島県は受講料が高額であるため）な負担となっており、簡素化や廃止が求められている。

3. **社会的地位と認知度の低さにも関連する人材確保の難しさ**:

介護支援専門員の社会的地位が低く、業務の重要性が認識されていないことが問題視されている。**業務内容が不明確で負担も大きい**ため、**若い人材がこの職業を選ぶことが難しく**なっている。専門性の向上や業務の明確化が必要とされている。現在の待遇や業務負担では新たな人材を確保することが難しく、業界全体の存続が危ぶまれている。

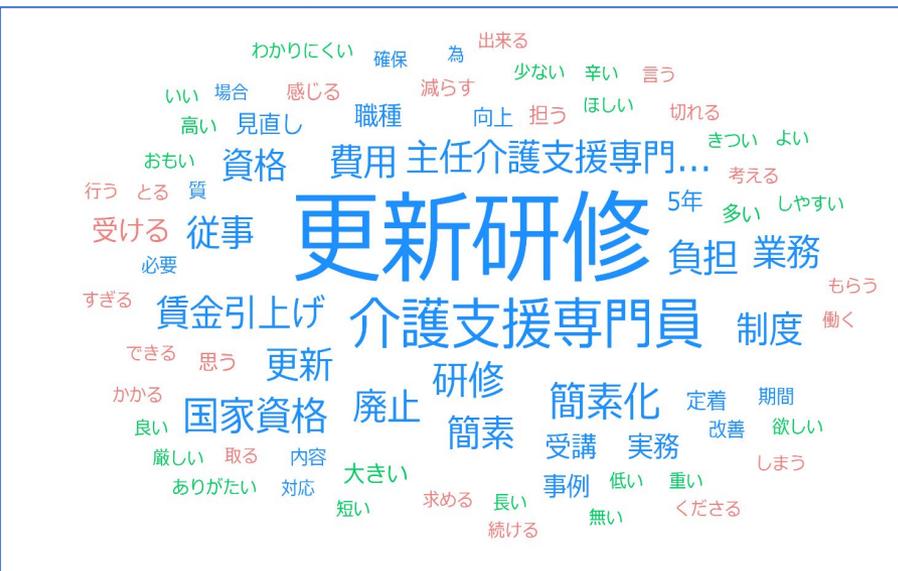
4. **改善策の提案**:

賃金の見直し、**業務の簡素化、更新研修の負担軽減、介護支援専門員の専門性の向上**を図る必要があると考えている。特に、**処遇改善加算の導入等による、業務量に見合った賃金の引上げ**が強く求められている。

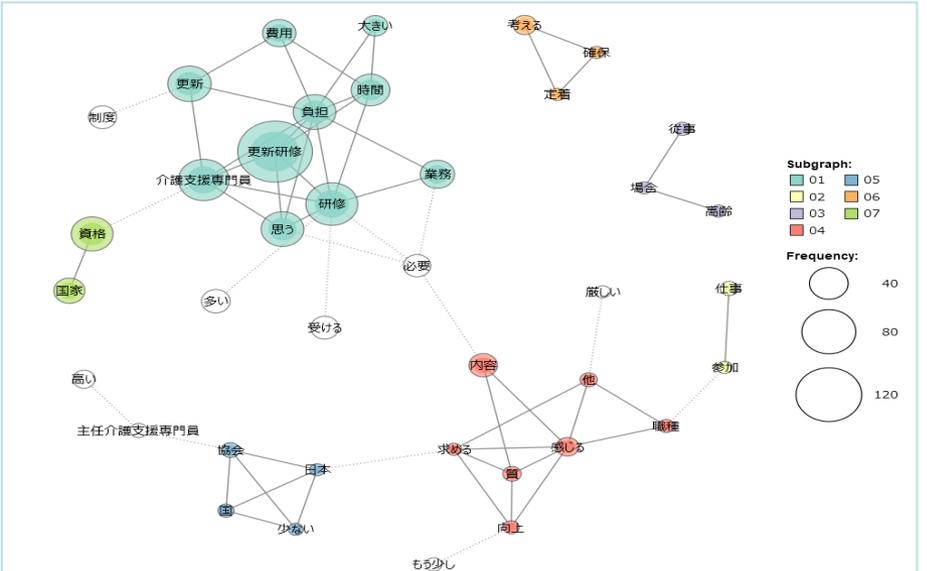
介護支援専門員の質の向上や待遇改善に繋がる仕組みを見直す必要があると結論づけられており、**若い人が介護支援専門員を目指すことができるような環境作りが急務**

★更新研修の入る文章のみを抽出し分析

○AIテキストマイニングbyユーザーローカルによるワードクラウド



KHcorderによる共起ネットワーク



○AIテキストマイニングbyユーザーローカルのAI文章要約をもとに協会副会長により加筆修正
この文章は、介護支援専門員の更新研修に関する不満や改善要望を述べた意見の集約

****更新研修の負担感**:**

介護支援専門員は5年ごとの更新研修に多大な時間と費用をかけており、「時間と研修費の負担が大きい」と感じている。特に、業務の合間に研修を受けることに負担が大きく、業務に支障をきたすことが多い。

****研修内容の質の問題**:**

更新研修の内容が「同じことの繰り返し」であり、実務に役立たないと感じる。時間や大きな負担を強いられる研修であるなら、それに見合う内容の研修であることを望んでおり、特に実践的な内容を求める。

****費用負担の重さ**:**

広島県は全国でも更新研修の費用が高いことから、費用が高さと自己負担が大きいことが問題視する。(事業所が負担しているケースもある)

****研修制度の見直し要望**:**

更新研修の簡素化や廃止を求める声が多く、介護支援専門員の質の向上は他の方法でも可能であると主張。

****国家資格化の提案**:**

介護支援専門員の資格を国家資格にすることで、研修の時間や金銭的負担を軽減することを提案。他の職業と比較して、更新手続きが厳しい現状を改善する必要があると感じている。